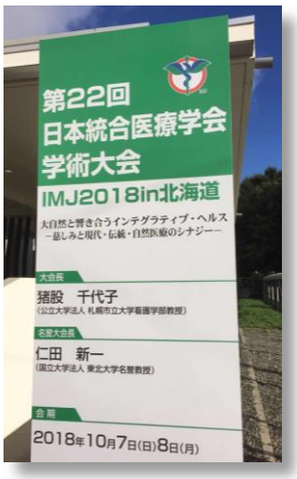
ミンテンテック NEWS Letter

Vol. 19

発行日2018年11月1日



第22回日本統合医療学会に参加

このたび、10月7日-8日北海道で開催された第22回日本統合医療学会に参加しました。
統合医療とは単に治療だけでなく、疾病の予防や健康増進に寄与する医療のことを言う。つまり、生まれてから死ぬまで一生をケアする包括的な医療、身体、精神のみならず、人間を包括的に診る全人的な医療など様々な真のチーム医療を指しています。

水素の症例を発表する先生方

二日間の会議で、さまざまな分野における最先端の臨床治療などに関する発表がありました。特に水素ガス吸引は他の治療方法と併用し、顕著な効果が得られたことが玉名地域保険医療センターの赤木純児院長と陶氏診療院の陶恵栄院長の臨床実例データにより証明されました。
赤木院長は43例（各臓器のガン）の水素吸引とハイパーサーミアを使った複合免疫療法でガン治療の実例を紹介しました。
陶院長は約一か月以上（1回1時間、毎日1～2回回）の水素ガス吸引療法で皮膚病、肺マック病に効果が得られ、パーキンソン氏病、糖尿病なども長時間水素吸引と生活習慣改善を併用して、改善効果が期待できることの紹介と大流量水素ガス吸引の安全性を述べました。

札幌国際大学の駅伝選手に活用

弊社の水素発生器導入先である札幌国際大学では、駅伝選手の体調維持に水素発生器が利用されています。
10/17（水）付けのスポーツ報知新聞に掲載されました。

【女子駅伝部】壮行会の様子がスポーツ報知にて掲載！ | クラブ＆サークル | 札幌… 1/3 ページ

札幌国際大学 Sapporo International University
CLUB & CIRCL
オープンキャンパス・入試案内
強化指定クラブ
硬式野球部　陸上競技部　女子駅伝部　硬式庭球部　男子バスケットボール部　女子バスケットボール部
体育系クラブ　文化系クラブ
受験生の方へ
将来をサポート（キャリア支
クラブ・サークル トップ ＞ NEWS & TOPICS 一覧 ＞ 【女子駅伝部】壮行会の様子がスポーツ報知にて掲載

【女子駅伝部】壮行会の様子がスポーツ報知にて掲載

10月17日（水）に本学2号館2階にて行われた壮行会の様子がスポーツ報知に掲載されま

28日全日本大学女子駅伝
札幌国際大 最後までつなぐ

全日本大学女子駅伝（28日・仙台＝6区間38キロ）＝報知新聞社後援＝に出場する札幌国際大（青沢賢一監督）が17日、同校で行われた壮行会で健闘を誓った。

昨年は創部初年度で出場し、25チーム中29位（2時間18分29秒）。2年連続出場となる今年は、夏に構内に完成した全長約900メートルのクロカンコースを走り込み強化。水素吸入装置も活用し体調維持にも努めてきた。上野八郎理事長のエールを受けた青山伶緒主将（2年）は「昨年は途中で繰り上げスタート。今年は最後までタスキをつなぎ、チームとして成長した姿を見せたい」と意気込んだ。

▲▲ 大会での健闘を誓う札幌国際大女子駅伝チーム

◇札幌国際大エントリーメンバー◇

選手名		学年	出身高校	5000メートル
張	俊香	①	台湾・崇口	17分16秒52
青山	伶緒	②	青森・弘前実	17・42・70
中塚	世莉菜	②	三重・皇学館	17・40・36
星野	莉子	②	群馬・前橋女	16・6・49
音場	美紅	②	埼玉・広瀬	17・52・74
高部	結衣	②	愛知・愛知淑徳	17・5・36
植松	芳紀	②	新潟・新潟明訓	18・13・95
阿部	麻莉香	①	群馬・新島学園	17・3・90
村妻	央佳	①	滋賀・甲南	17・50・77
磯崎	日菜	①	七尾	17・46・19

ページの先頭に戻る

編集後記

秋晴れの比較的さわやかなお天気が続いていますが、お元気ですか。
今月号は学会発表や大学での水素吸入器の活用事例をご紹介いたしました。
まだまだ水素は研究途中ですが、多くの症例が発表されています。水素の吸入を通じて、お客さまの感じたことなどがございましたら、ぜひご意見をお寄せいただきたいと思います。
（田）

MINTECH
株式会社ミンテンテック
〒130-0022
東京都墨田区江東橋4-24-5
協新ビルヂング401号室
TEL 03-5669-0986
FAX 03-5669-0987
E-mail : info@mintech.ne.jp
https://www.mintech.ne.jp/

MINTECH
水素発生器
MT-A100

オープン価格